静岡県知事
　川勝　平太　殿

折戸湾再開発に関する提言書

令和元年８月

静岡経済同友会静岡協議会
折戸湾沿岸部地権者有志

折戸湾は清水港の内海に位置し、三保松原に抱かれた日本でも有数の穏やかな水面、富士山、伊豆半島を一望できる世界に誇る景観を有している。

我々は、この素晴らしい環境を活かし、折戸に市民や来訪者が心から楽しめる癒しの空間を創造したい。

そのためには、折戸湾の海面、水際線、沿岸部を一体として再生することが必要であり、海面、水際線を管理する静岡県、沿岸部の土地を所有する地権者、更には地元の経済団体、企業、地域住民、といった全ての関係者が連携し、力を合わせて再開発に取り組むことが重要である。

本提言書をまとめた静岡経済同友会静岡協議会並びに地権者有志2 名はこの点を十分に理解した上で以下による折戸湾の再開発を提言するものであります。

早期の実現に向けご検討賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

（具体的な提言内容）

（１）防災対策

多くの人が集い楽しむ癒しの場は、同時に安心・安全が確保され、災害に強くなければならない。

県が管理する折戸湾を囲む護岸は、近年、老朽化が進行し、地震津波による被害が懸念されることから、防災対策としての護岸改修の早期実施をお願いしたい。

（２）折戸湾の活性化

護岸改修にあたっては、防災対策に加え、市民や来訪者が心から楽しめる癒しの空間を創出するため、以下の点の検討をお願いしたい。

（イ）護岸の改修と同時に、水際線に景観を楽しみながら憩うことの出来る連続した空間の創造を目指すこと。また空間を確保するとともに、休憩所、トイレなどの整備についても検討すること。

（ロ）海面の利活用の検討にあたっては、水域を利用しているマリーナ、造船所等の関係者とともに、十分な調整を行うこと。

（３）清水港港湾計画への反映

多くの市民が自然豊かな癒しの場としての折戸湾を切望し、また産業政策から見ても折戸湾の再整備は喫緊の課題である。将来計画の基本を決める清水港港湾計画の改訂が 2020 年度と間近に迫って来ている。この機を逃すことなく折戸湾の再整備を計画へ組み入れ

ることを切にお願いしたい。

　またこれと並行して用途地域の変更等についても検討を実施願いたい。

（４）今後の推進体制について

　静岡経済同友会静岡協議会、折戸湾沿岸部地権者ならびに地域の意見を取り入れた別添「折戸湾活性化事業基本計画書」は、水際線に沿った海面または陸上部分の施設として、温浴施設、海上ホテル・レストラン、休憩施設などを描いている。また利用者数、必要投資額、単年度売上げなども試算されており、沿岸部開発への呼び水プロジェクトとして十分に検討に値する。

　この計画の具体化に向けては、静岡経済同友会静岡協議会が中心となり、沿岸部の土地所有者、経済団体、企業、地域住民及び行政で構成される「折戸湾沿岸部開発事業化推進会議」において、引き続き、検討を進めることから、県においても、参画をお願いしたい。

以上

令和元年　８月

静岡県静岡市葵区常磐町一丁目４番地
第１ヨシコン常磐町ビル 3F
静岡経済同友会静岡協議会
代表幹事　薩川 諭

(折戸湾沿岸部地権者有志)
静岡県静岡市清水区清開三丁目５番 40 号
清水埠頭 株式会社
代表取締役社長　鈴木 與平

静岡県静岡市清水区富士見町８番 15 号
清水港木材産業協同組合
理事長　福島 覚